



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年7月21日

上場会社名 小松ウオール工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7949

URL <https://www.komatsuwall.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加納 裕

問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員技術開発本部長
兼 IR・経営企画担当

(氏名) 加納 慎也 (TEL) 0761-21-3131

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	7,353	3.8	△60	—	△43	—	△48	—
2022年3月期第1四半期	7,085	6.7	0	△98.7	29	△70.7	9	△82.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△5.23	—
2022年3月期第1四半期	1.00	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	41,686	34,991	83.9
2022年3月期	42,143	35,399	84.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 34,991百万円 2022年3月期 35,399百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	40.00	—	45.00	85.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	40.00	—	50.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	6.6	550	5.2	600	6.4	370	8.2	39.89
通期	38,000	10.0	2,750	54.4	2,800	51.5	1,800	45.1	194.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	10,903,240株	2022年3月期	10,903,240株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,615,689株	2022年3月期	1,623,889株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	9,285,388株	2022年3月期1Q	9,264,626株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2023年3月期1Q 178,500株、2022年3月期 186,700株、2022年3月期1Q 199,600株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予想情報に関する説明」の記載事項をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進む中で、景気を持ち直しの動きが続いております。一方で、ウクライナ情勢の長期化や原油及び原材料価格の上昇及び供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による経済への影響に注視する必要があります。

このような状況にあつて当社は、生産部門においては、生産設備の更新を計画的に実施しており、品質及び生産性の一層の向上を図ってまいりました。営業部門においては、新製品や主要製品のPR活動に注力し、見積獲得、受注獲得に向けて取り組んでまいりました。また、設計指定の獲得に向けて、本社技術者による営業支援を引き続き実施しております。

当第1四半期累計期間の経営成績につきましては、特に受注高が堅調に推移し前年同四半期と比較して9.3%の増加となりました。また、売上高としましては、官公庁向けでは福祉・厚生施設、文化施設が堅調に推移しており、民間向けでは、オフィス、学校・体育施設が堅調に推移しております。品目別では、オフィス需要の大半を占める可動間仕切が引き続き好調に推移しており、移動間仕切が復調に転じております。

売上高全体としては、73億53百万円となり、前年同四半期と比較して3.8%の増加となりました。輸入制限等による部材供給の制約に起因し、納入現場の前工程が一部遅れる等影響が出ており、当初見込んでいた工期が延期となったことなどから、受注残高におきましては、前年同四半期と比較して17.1%の増加となりました。

利益面につきましては、業務の効率化を図るなど生産性の向上に努めたものの、原材料価格の上昇による影響を大きく受け、売上総利益率は31.1%（前年同四半期比1.3ポイント悪化）となりました。売上総利益率が低下したことに加え、他の四半期会計期間に比べて需要が少ない傾向にある第1四半期累計期間では、行動制限の緩和を背景に営業活動が一層活発化したことで増加した販売費及び一般管理費を吸収しきれず、その結果、営業損失60百万円、経常損失43百万円、四半期純損失48百万円となりました。

当第1四半期累計期間の品目別売上高、受注高及び受注残高は次のとおりです。

品目別売上高、受注高及び受注残高

(単位：百万円)

当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)						
品目	売上高		受注高		受注残高	
	金額	前年同 四半期比 (%)	金額	前年同 四半期比 (%)	金額	前年同 四半期比 (%)
可動間仕切	3,349	121.2	4,070	122.3	4,111	139.1
固定間仕切	1,465	84.5	1,920	87.7	4,571	100.7
トイレブース	1,075	95.3	1,819	99.4	3,214	104.5
移動間仕切	1,072	110.4	1,651	133.6	4,260	130.9
ロー間仕切	132	91.4	137	91.2	75	117.2
その他	258	75.5	278	91.7	421	128.3
合計	7,353	103.8	9,878	109.3	16,654	117.1

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間の末日における財政状態は、総資産は416億86百万円となり、前事業年度末と比較して4億56百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は270億53百万円となり、前事業年度末と比較して4億19百万円の減少となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産19億53百万円等の減少と、現金及び預金12億59百万円、棚卸資産1億44百万円、電子記録債権1億28百万円等の増加によるものであります。固定資産は146億33百万円となり、前事業年度末と比較して36百万円の減少となりました。

負債の部では、流動負債は46億円となり、前事業年度末と比較して1億円の減少となりました。これは主に、賞与引当金5億13百万円、買掛金4億39百万円、未払法人税等2億35百万円等の減少と、流動負債「その他」に含まれる未払人件費11億33百万円等の増加によるものであります。固定負債は20億95百万円となり、前事業年度末と比較して51百万円の増加となりました。

純資産の部では、純資産の総額は349億91百万円となり、前事業年度末と比較して4億7百万円の減少となりまし

た。これは主に、剰余金の配当4億25百万円による利益剰余金4億74百万円等の減少によるものであります。以上の結果、自己資本比率は83.9%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、2022年4月27日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,335	16,594
受取手形、売掛金及び契約資産	8,902	6,949
電子記録債権	2,214	2,343
棚卸資産	818	963
その他	201	202
流動資産合計	27,472	27,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,216	11,296
機械装置及び運搬具	7,316	7,352
土地	4,646	4,646
その他	1,275	1,282
減価償却累計額	△12,536	△12,738
有形固定資産合計	11,918	11,838
無形固定資産	450	442
投資その他の資産		
その他	2,308	2,360
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	2,300	2,352
固定資産合計	14,670	14,633
資産合計	42,143	41,686
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,956	1,517
未払法人税等	275	39
賞与引当金	1,000	486
その他	1,468	2,557
流動負債合計	4,700	4,600
固定負債		
退職給付引当金	1,679	1,712
役員退職慰労引当金	86	86
役員株式給付引当金	144	154
その他	132	140
固定負債合計	2,043	2,095
負債合計	6,743	6,695

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,099	3,099
資本剰余金	3,035	3,035
利益剰余金	31,803	31,329
自己株式	△2,595	△2,582
株主資本合計	35,343	34,882
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	55	109
評価・換算差額等合計	55	109
純資産合計	35,399	34,991
負債純資産合計	42,143	41,686

(2) 四半期損益計算書

(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	7,085	7,353
売上原価	4,789	5,065
売上総利益	2,296	2,287
販売費及び一般管理費	2,295	2,347
営業利益又は営業損失(△)	0	△60
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	5
受取保険金	12	—
受取家賃	6	6
その他	3	3
営業外収益合計	28	16
経常利益又は経常損失(△)	29	△43
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
特別損失合計	1	0
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	29	△43
法人税、住民税及び事業税	13	14
法人税等調整額	6	△8
法人税等合計	19	5
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9	△48

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。